

ペンシルロケットを さが 探せ! キャンペーン

じっし きかん
実施期間
2025年
12月26日
まで

©JAXA

ペンシルロケットを見つけたら、

こくぶんじし しみんせいかつぶ ぶんかしんこうか

国分寺市 市民生活部 文化振興課 TEL: 042-312-8610

れんらく
まで、ご連絡ください!

1955年4月12日、国分寺市で、東京大学生産技術研究所の糸川英夫教授が率いるチームにより、日本で最初のロケット発射実験が行われました。

この実験には、全長23cm、直径1.8cmの「ペンシルロケット」が用いられました。

2025年現在、専門家による鑑定を経て、17機のペンシルロケット実機の所在が確認されています。確認されたペンシルロケットの多くは、東京大学生産技術研究所の元職員、宇宙科学研究所のOBの方々が個人的に所蔵されています。ロクーン予備実験で小学校の敷地を利用した際に、糸川教授から寄贈されたものもあります。

ほかにもまだ、所在が確認されていないペンシルロケットがあると考えられます。確認されたペンシルロケットは、全200機のうち、わずか17機です。所蔵されている個人のご家族がその来歴を知らない可能性もあります。実際に発射実験を経た機体は、使用した痕跡で汚れている可能性が高いです。

日本の宇宙開発史ゆかりの地、国分寺市（東京都）、杉並区（東京都）、千葉県、秋田県、鹿児島県の周辺で、そうした情報をお持ちの方がいましたら、ぜひ国分寺市までご連絡ください。



©JAXA

ペンシルロケット

左から、2段式ペンシル、
ペンシル300（全長30cm）、
標準型（全長23cm）

だんいん せいししょうねん
YAC 団員のおばさん! 青少年のおばさん!

いえ しんせき いえ はっけん こくぶんじし でんわ
おじいちゃんおばあちゃんの家や親戚の家で、ペンシルロケットを発見したら、国分寺市にお電話ください。

主催：国分寺市

協力：科学自然都市協創連合、日本宇宙少年団、日本宇宙フォーラム

企画・製作：日本宇宙フォーラム